

JTECS

タイ人学生インターンシップ

～ 優秀なタイ高度人材の確保に向けて～



泰日工業大学（TNI）の卒業式風景

一般社団法人 日・タイ経済協力協会〔JTECS〕

Japan - Thailand Economic Cooperation Society

ご挨拶

西村 康稔 前経済産業大臣

同インターンシップ事業は、優秀なタイ人学生の日本企業における活躍を後押しする取り組みとして、まさに政府の方針と方向性を一にした重要な取り組みであります。こうした取り組みを更に広げ、引き続き、日タイ両国の人材交流促進にご尽力いただけることを期待しております

(当協会創立50周年記念式典あいさつ抜粋)



シントン・ラーピセートパン 前駐日タイ王国特命全権大使

JTECSのインターンシッププログラムは、日本の産業に対応するタイの人材開発のためにTNIが設立された具体的な成果です。従って、このプログラムは経済的な相互利益という課題に応え、日タイ関係を強化するもので、活用する関係者の皆様にご協力頂ければと期待しております。

ランサン・ラートナイサット 泰日工業大学 学長

本学には、日本の技術や文化、日系企業に強い関心を持つ学生が集まっております。工学、情報技術学、経営学等の専門知識と技術を身につけ日本のものづくりを理解し、日本語や英語によるコミュニケーションを円滑に行える学生を育成しております。JTECSインターンシップを通じて、両国の産業発展に資する中核人材を共に育てていただきたく、ご協力をよろしくお願い致します。



推薦のことば 内山田 竹志 日・タイ経済協力協会 前会長

泰日工業大学には、日本に親近感を持っているだけでなく、日本のものづくりについて専門教育を受けてきた即戦力人材が揃っています。皆様におかれましてはこの機会に当インターンシップ制度をご活用頂き、御社の更なるグローバル化のきっかけとして頂ければと存じます。

タイ人学生のインターンシップ動向

日本の生産年齢人口が毎年50万人規模で減少している中、2014年度～2019年度の高度外国人材の日本での就職は、年率平均24%で増加しています。高度外国人材の内訳は、中国と東南アジアが多くを占めていますが、今後は東南アジア、とりわけタイの高度人材の採用拡大を希望する日本企業が増えています。

高度外国人材のうち、海外大学卒の外国人材の採用のために日本企業が講じている施策の中で、インターンシップは約2割あります。インターンシップは学生の資質と能力を職場で見極められるという利点から、今後もこの傾向はさらに高まるものと見込まれています。

JTECS 『タイ人学生インターンシップ』のご活用

高度外国人材を巡る獲得競争が激しくなる状況下、ご希望に沿う即戦力人材を探し出すことは容易ではありません。そこで、JTECSでは、優秀且つ日本語での意思疎通が可能なタイ人大学生（泰日工業大学4年生）を対象に、御社との綿密な事前マッチングを通じて、御社での価値あるインターンシップの実施に関わるサービスをご提供させていただきます。

タイ人学生受入のメリット

- ・タイ人学生採用の大きなきっかけになります
- ・社内の多様化や活性化につながります
- ・タイ進出やタイ事業拡大の機会につながります

- ・受け入れ企業様のインターンシップ費用ご負担につきましては、インターン生の日本国内での宿泊費・国内交通費、及びJTECSサポート費用となります。（金額はケースにより異なりますが、1名当たり10万～60万円程度の見込み）
- ・泰日工業大学及びインターン生にて、往復渡航費（受け入れ企業様の最寄りの空港まで）、海外旅行保険料、損害保険料、食費、査証料等の費用を負担します。
- *タイ人学生への報酬支給は発生しません。
- *食事/食費補助は各受入企業様判断となっております。（1日2,200円までを上限とさせていただきます）
- *JTECS会員企業様につきましては、会員割引を適用させていただきます。



泰日工業大学 Thai-Nichi Institute of Technology: TNI

タイ人元日本留学生・元研修生が設立した注目の私立大学

日本のものづくりと日本語を理解する即戦力人材を輩出
その多くが日系企業・日本企業に就職し、現在活躍中。
(工学部、情報技術学部、経営学部、泰日国際学院※)

※泰日工業大学（TNI）は、英語で学位が取得できる泰日国際学院（TNIC：Thai-Nichi International College）を2021年11月に正式に併設

インターンシップの実施時期・対象学部/学科

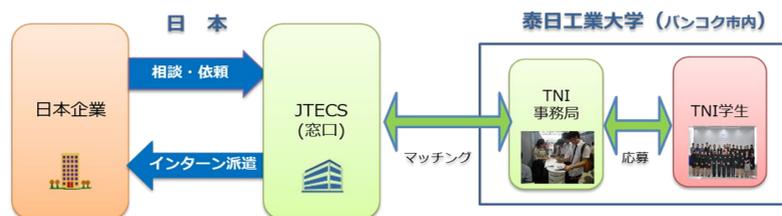
泰日工業大学の工学部・情報技術学部・経営学部、泰日国際学院(TNCI)4年生を対象に、標準8週間のインターンシップを実施いたします。当面の実施予定スケジュールは以下の通りです。

(8週間以上の受け入れを希望される場合は、事務局にご相談下さい)

インターンシップ実施期間 (8週間)	各期間のインターン対応学部・学科	申込期限
2024年6月17日(月)～8月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 工学部：Automotive Engineering / Robotics&Lean Automation Engineering / Computer Engineering / Industrial Engineering /Electrical Engineering 情報技術学部：Digital Technology in Mass Communication 経営学部：Japanese Human Resources Management / Logistics and Supply Chain Management 国際学院：Digital Engineering / Data Science and AI Development of Business and Start-up 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">募集終了</div> 11/15(水)
2024年9月2日(月)～10月25日(金)		
25年1月14日(火)～3月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術学部：Information Technology / Multimedia Technology Business Information Technology 経営学部：Accountancy / Innovative Tourism and Hospitality Management / Digital Marketing 	2024/7/10(水)
2025年4月21日(月)～6月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 経営学部：Japanese Business Administration (Marketing, Finance, Japanese) International Business Management 国際学院：International Business and Entrepreneurship 	2024/9/15(月)

JTECSでは、御社のご希望に基づき、泰日工業大学の4年生とのマッチングを始めとするインターンシップに関わる事前準備、及びインターンシップの実施と実施後フォローをサポートします。

サポート内容：マッチング、在留資格申請手続、宿泊・保険手配、空港ピックアップ、タイ人学生との定期連絡とケア、他



インターンシップのカリキュラム

マッチングを通じてインターン生(タイ人学生)が確定後、インターン生の希望も参考にして御社にて「インターンシップ日程計画表」を作成いただき、双方同意の上、インターンシップを実施します。

例1：製造メーカーA社 (8週間)

	内容	担当部署
第1週	オリエンテーション 会社概要説明、安全管理	JTECS A社総務課
第2週	品質管理、仕事の流れ、 測定、図面の見方	A社品質保証部 A社技術課
第3週	アーク溶接 (手付、ロボット)	A社技術課
第4週～5週	旋盤、フライス盤、 治具作製	A社設備課
第6週	プレス金型の研磨と組付け	A社工作機械課
第7週～8週	CAD演習 最終報告会	A社技術課 A社総務課、 JTECS

例2：ソフトウェア開発B社 (8週間)

	内容	担当部署
第1週	オリエンテーション 会社説明、ビジネスマナー	JTECS B社総務課
第2週	Website構築	A社技術部1課
第3週	Excel関数 Excel-VBA	A社技術部1課
第4週～5週	HTML javascript	A社技術部2課
第6週～7週	データベース構築 JSP	A社技術部2課
第8週	PHPプログラミング 最終報告会	A社技術部、 JTECS

注) 上記の他、建築設計、生産管理、マーケティング、国内・海外営業等、インターンシップ分野は広範囲に及びます。

日本との親和性

日本語での円滑なコミュニケーションを目指し、日本語は全学生必修。日本語能力試験 N2～N4 相当の学生も多数在籍しております。

日本語検定のレベル目安

N2 = 日常使われる日本語の理解に加え、やや高度なやりとりまで可能

漢字1,000字・語彙6,000語程度を習得、日本の大学留学希望者の目標水準。

N3 = 日常使われる日本語を理解

就労の日本語、場面に応じたやりとりも可能、漢字700字・語彙3,500語程度を習得。

N4 = 基本的な日本語を理解

ゆっくりした会話でのやり取りが可能、漢字300字・語彙1,500語程度を習得。

学生向けオンライン企業説明会の実施

お申込みいただき企業様より対象学部の学生向けに、オンラインにて企業説明を実施いただきます。御社の魅力を直接学生にお伝えいただけますので、より御社のニーズに沿った学生からのエントリーが期待できます。(タイ語逐次通訳有)



きめ細かいマッチング

御社のご希望にできるだけ沿うインターン生候補者を推薦させていただくため、きめ細かいマッチングを事前に行います。

☑ 書類ベースにて御社が求めるインターン生像と学生が希望する企業像をもとにマッチングします。

・御社が求めるインターン生像（学生の学科・得意分野・日本語力・資格・資質・動機等）

※御社のご希望に基づき、御社紹介動画をTNI専用サイトにアップし、エントリー前の学生に閲覧してもらいます。

☑ 御社のご希望に基づき、御社とインターン生候補者とのweb面接を行います。

来日前研修の実施

マッチングが成立したインターン生は、泰日工業大学にて来日前研修30時間コース*を受講の上、御社でのインターンシップに臨みます。*日本の企業文化と労働倫理、5S、改善、プレゼンスキル等

当協会による各種フォロー

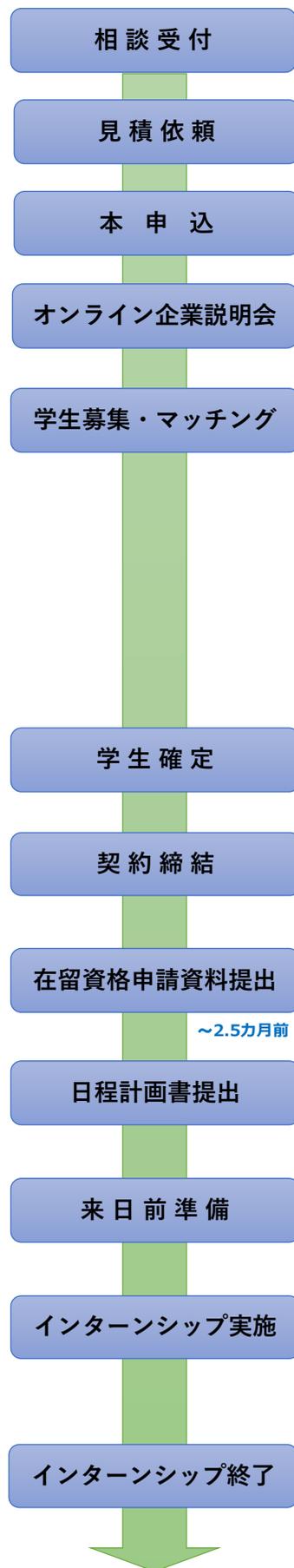
(来日前) マッチング、在留資格申請手続、宿泊/保険手配等、オンラインでの事前オリエンテーション（日本での生活案内、安全管理等の説明を通じ、より早く日本の生活に慣れ、インターンシップを円滑に進められるよう助言します)

(来日後) 空港ピックアップ、学生定期フォロー（日本滞在中のインターン生への定期的な連絡・面談、ならびに帰国後のインターン生と御社とのコミュニケーションのサポートを行います)



各種手続きの流れ

各種手続きを進めさせていただく中でPDCAを重視し、より充実したインターンシップの実施を目指します。



相談受付

見積依頼

本申込

オンライン企業説明会

学生募集・マッチング

学生確定

契約締結

在留資格申請資料提出

~2.5カ月前

日程計画書提出

来日前準備

インターンシップ実施

インターンシップ終了

完了

「タイ人学生インターンシップ」のご利用に関わるお問合せがございましたら、JTECS担当者より、同インターンシップ制度概要について詳しくご説明させていただきます。

インターンシップの制度概要を十分ご理解の上、ご利用される場合は見積依頼書をご提出いただけます。

見積依頼書に基づいてJTECSが作成・提出する概算見積書内容にご同意いただけましたら、本申込に移ります。本申込では、インターン生受入登録申込書に必要事項（御社の概要、インターンシップ計画案、インターン生に求める要件等）をご記入されたのち、JTECSにご提出いただけます。

※受入期間ごとの本申込締切日はP3『インターンシップ実施時期・対象学部/学科』ご参照。

本申込をいただいた企業様より、対象学部の学生向けに、オンラインにて企業説明（タイ語逐次通訳あり）を実施いたします。

＜書類選考＞

御社でのインターンシップを希望する学生（インターン生候補者）のエントリーシートを御社に送付し、選考いただきます。エントリーシートには、学生の希望動機、学歴、日本語力、卒業後の日本での就職希望の有無等が記載されています。

○オプション「企業紹介動画」

上記インターン生受入登録申込書の企業情報等で不十分な場合は、御社紹介動画（10分以内）を併せてJTECSにご送付いただき、TNI専用サイトに動画をUPしてエントリー前の学生に閲覧してもらいます。

○オプション「学生とのオンライン面接」

御社のご要望に応じて、御社での書類選考を経たインターン生候補者とのオンライン面接をアレンジし、実施いたします。

御社よりインターン生候補者の最終選考結果をJTECSにお伝えいただき、JTECSで同候補者本人の確認をとったのち、インターン生を確定いたします。

御社とJTECSとの間で、インターンシップ実施に関する個別契約を締結させていただきます。その際、改めてJTECSから正式な見積書を作成・提出いたします。また、インターン生自身がインターンシップ規則を厳守するよう、本人の署名入り誓約書をJTECSを通じて御社に提出いたします。

御社よりインターン生の在留資格申請に必要な各種書類・資料等をJTECSにご提出いただけます。その上で、JTECSが東京出入国在留管理局での申請手続きを代行いたします。【**在留資格：文化活動**】

インターン生の目標設定シートを参考に、御社でインターンシップ日程計画書・確定版を作成し、JTECSにご提出いただけます。その後で、JTECSがインターン生に確定計画内容の同意を取り付けます。

JTECSは、インターン生の来日に必要な事前準備を行います。

例：在留資格申請代行、国内宿舍・損害保険等の手配

インターン生は、TNIにおいて来日前研修を受講します。

JTECSは、インターン生を来日時に空港でピックアップし、宿舍経由で御社まで引率します。また、インターンシップ初日、JTECSがインターン生にオリエンテーションを行い、日本での生活やインターンシップ中の各注意事項を周知します。そして、インターンシップ中にインターン生は週報を作成し、御社担当者の確認を経て、JTECSに提出いただけます。

インターンシップ終了後にインターン生には最終報告書を、御社には評価調査票をそれぞれJTECSに提出いただけます。

御社のご要望に応じ、帰国後のインターン生との御社とのコミュニケーションをサポートいたします。

インターンシップの位置付けと実績

泰日工業大学 Thai-Nichi Institute of Technology (TNI)

日本のものづくりと日本語を理解する即戦力人材を輩出

- 設立** 2007年設立
学生数 約 4,000名
学部 工学部、情報技術学部、経営学部、泰日国際学院 (TNIC)
住所 177/1 Pattanakarn Rd., Suan-Luang, Bangkok, Thailand
特徴
 - ✓ 現場インターンシップ教育重視
 - ✓ ものづくりの理論と実践の両立
 - ✓ 日本企業・日系企業のニーズを重視
 - ✓ 社会人向け教育の充実
 - ✓ コミュニケーション力重視 (日本語・英語)



ランサン・ラートナイサット学長
(京都大学大学院経済学研究科卒業)

インターンシップの位置づけ

TNIの教育方針として、日本のものづくりを理解する即戦力の人材を輩出することが掲げられ、インターンシップは最重要科目の一つになっています。

JTECSがご提案するタイ人学生インターンシップもその一環で行われ、インターンシップ中に日本の職場で専門知識を高め、業務体験を通じて社会人としての実践力を身につけてもらうことを目的としています。

上記の趣旨からインターン生の招聘につきましては、在留資格は「文化活動」になります。したがって、在留資格の規程上、一定の知識・技術を身につけることが可能な活動が必要であり、単純労働と目される活動や業務利益が伴う活動については、認められません。また、インターンへの報酬支給は発生いたしませんので、ご注意ください。

日本でのインターンシップの実績

JTECSは、日本政府及び国際機関からインターンシップ事業を受託し、TNIのタイ人学生170名（7年間）を日本企業に派遣しました。TNIを卒業後にインターンシップ先企業で就職した卒業生も含め、現在、200名近くが日本企業で活躍されています。

- 経済産業省受託事業「貿易投資促進事業」
2013年度～2015年度
- 日・アセアン経済産業協力委員会 (AMEICC) 受託事業
2016年度～2019年度

過去5年間のTNI入学生数

学部	学科	略号	2018	2019	2020	2021	2022
工学部	自動車工学	AE	133	88	69	55	51
	リーン自動化・システム インテグレーション工学	RE	26	21	14	37	45
	コンピュータ工学	CE	69	76	54	75	127
	産業工学	IE	38	35	25	18	32
	電気工学	EE	52	35	29	30	28
	小計		318	255	191	215	283
情報技術学部	情報技術学	IT	60	58	63	68	89
	マルチメディア技術学	MT	109	116	139	151	151
	ビジネス情報技術学	BI	35	19	25	30	26
	広報デジタル技術学	DC	40	30	23	29	31
	小計		244	223	250	278	297
経営学部	技術・イノベーション 管理学	MI	36	51	27	37	8
	日本語・経営学	BJ	157	158	125	141	147
	ビジネス・工業経営学	BM					0
	国際経営学	IB	67	75	69	74	70
	会計学	AC	35	26	22	28	33
	日本の人事管理学	HR	36	20	17	41	41
	ロジスティクス・サブ ライチェーン管理学	LM	47	48	69	81	61
	創造的・デジタル マーケティング学	CM	31	21	21	26	31
	革新的観光・接客管理学	TH		39	31	24	12
	小計		409	438	381	452	403
国際学院	デジタル工学	DGE	27	14	15	16	21
	データサイエンス・解析学	DSA	8	13	9	7	10
	国際ビジネス経営学	IBM	10		8	9	12
	日本語・国際ビジネス学	JIB	14	16	8	17	6
	小計		59	43	40	49	49
合計			1,030	959	862	994	1,032

タイ人学生インターンシップをご利用された企業様には、泰日工業大学との以下コラボレーションの機会を優先的にご案内させていただきます。

共同作業スペース「コワーキングスペース」

共同研究、スタートアップ・ビジネスインキュベーションのための、泰日工業大学キャンパス内共同作業スペースの貸し出し。



メリット：

タイでの新たなビジネス展開に向け、工学部、情報技術学部、経営学部他、人工知能システム統合センターなどの協力が得られます。

ご希望に応じて、専門家によるメンタリングやタイのパートナー候補企業紹介の有償サービスを受けられます。

産学共同研究協力

全学18の研究室を中心とした産学協力の研究分野やサービス等のご紹介とご相談対応。



✓ 工学部の主要研究テーマ

人工知能、無線センサー、燃料電池、
モーター駆動・制御、自動化、金型設計等

✓ 情報技術学部の主要研究テーマ

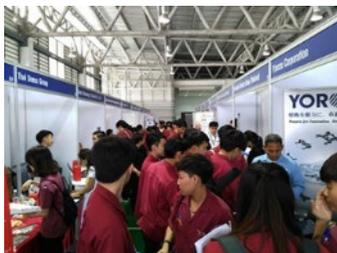
経営管理のソフト開発、モバイルアプリ開発、
グラフィックデザイン、IT設計等

✓ 経営学部の主要研究テーマ

TPS、ビジネス管理の効率化、デジタル技術
によるマネジメント、企業診断等

就職合同説明会「ジョブフェア」

毎年1月にTNIキャンパスで開催されるジョブフェア（就職合同説明会）への優先的なご案内。例年、ジョブフェアには4月卒業見込みの学部生約1,000名が参加し、日本・タイ併せて百数十社の企業が出展されています。



■ 受入企業様ご紹介（1）

- ・ 会社名：株式会社 ヨコタコーポレーション
- ・ 所在地：徳島県吉野川市
- ・ HP： <https://www.yokota-inc.com/>



<企業紹介>

ベアリング、自動車部品等の旋削加工や高い技術力を武器にFA機械の開発設計や製造等を担う製造事業、さらにリユースストア運営を主体とした流通事業、新築・リフォームを共に手掛ける住宅事業まで多彩な事業を展開。2018年にはタイ現地法人としてYOKOTA CORPORATION (THAILAND) を設立するなど、グローバル化にも注力しています。タイでタクシーとして親しまれているTUKTUKをEV化し、徳島県内で活用する取組みを行うなど、どんなに時代が変化しても、常に新たな挑戦を続け、地域に貢献し続けられる企業として着実に歩みを進めている。

■ インターン期間中のエピソード

インターン内容は、インターン生の専攻と違う内容も多くあったにも関わらずしっかり取り組んでいただきました。中間報告会、最終報告会ではプレゼンテーションを行っていただきました。準備をしっかりされていて、発表も落ち着いており内容も素晴らしいもので驚きました。

受入時期は日本の真冬で非常に寒い時期でしたが、初めて経験する寒さや雪の体験に非常に喜んでいました。寒いのは好きだと言われていました。休日には、徳島観光（鳴門の渦潮、かずら橋、Jリーグサッカー観戦など）も経験してもらいました。日本食は大変気に入っており、特に徳島ラーメンや焼き肉に感動していました。



■ 受入企業様ご紹介（2）

- ・ 会社名：株式会社 プロGRESS
- ・ 所在地：東京都千代田区大手町
- ・ HP： <https://www.progress-all.co.jp/>

<企業紹介>

当社はリモート開発会社として、原則フルリモートでのサービス提供を行っております。開発、プロジェクト管理、運用保守、その他サービスをフルリモートで提供する知見を保持しております。都心のみエンジニアだけでなく全国の優秀なエンジニアにより、移動などに掛かる費用時間を最小限として、このコロナ禍でもよりリスクを低減し、より生産性が高く、リーズナブルなサービスを提供致します。



■ インターン期間中のエピソード

- ① 学生がアプリケーションの画面をデザインし自分たちで実装したこと
未経験のプログラミング言語でしたが、自分たちで使いやすいデザインを設計し、実際に利用できるように開発を行いました。経験のないことであってもより良いモノを作ろうとするふたりの姿勢にリスペクトです。
- ② 学生がインターンシップの成果発表をオンラインで行ったこと
開発した画面を基に、アプリケーションの内容や利用した技術と併せ資料を作成し、社員の前で発表を行いました。英語ではありましたが、インターンシップで実施していた内容を共有いただいたことで社員としてもとても良い刺激となりました。
- ③ 学生との交流を目的として、リモートランチ会を行ったこと
弊社では月に1度リモートランチ会を実施しています。インターンシップ期間のため、学生も交えリモートランチ会を開催しました。当日は30名程度の社員が参加し、英語やテキストでコミュニケーションを取りました。大多数の社員はタイの方とコミュニケーションを取ったことがなかったため、新鮮で楽しい経験になりました。

■ 受入企業様ご紹介（3）

- ・ 会社名：株式会社トリプルワン
- ・ 代表者：代表取締役社長 佐川 達也
- ・ 所在地：東京都中央区晴海
- ・ HP： <https://www.tripleone.net/>



佐川社長様

<企業紹介>

半導体の基板設計、ハード・ソフト開発からスタートしたトリプルワン

部品調達から製造まで一貫した体制を築きあげるだけでなく2017年には東証のTOKYO PRO Marketへ上場いたしました。

具体的には、ハードウェア・ソフトウェアの設計開発、派遣・受託開発やメカトロニクス等の設計開発から組立・調整など半導体の製造にかかわる様々な事業を行っております。

WEBアプリ、半導体検査装置の組込み、車載系ソフトなど、その他半導体ウエハ・フォトマスクの搬送装置、試験機などの設計及び製作など、多岐に渡り半導体事業へ携わっています。弊社には外国籍の社員も在籍しており、2016年頃からはTNI様とより良い関係のもと、タイ人学生の採用も積極的に行っています。

半導体は自動車やPC、スマホ、家電など様々な製品に使用されております。

2020年ごろから半導体不足により、半導体メーカーや半導体製造装置メーカーなど半導体関連事業は好調を続けており、今後もこの勢いは衰えないといわれています。

弊社は、長年大手の半導体メーカー様と取引を継続しており今後も成長を続けていきます。

半導体業界のトリプルワンと一緒に成長しましょう！

■ インターン生受入れの経緯と受入れ時の状況



タイに事業所はありませんが、日本人学生の採用が困難な中、広く海外からも人材を募ることを決めたところ、たまたまJTECSから依頼があり受けたことがきっかけでした。

受入れ当初、インターン生たちは、日本語でのコミュニケーション能力の点では苦労をしましたが、礼儀正しく、思ったより辛抱強く、学習スピードも意外に早い印象でした。その後も続けて採用した理由としては、TNIとのコネクションを構築できたこと、OB・OGが在籍していることで後輩たちが安心して応募してきたこと、インターンシップにより、入社前に学生のスキルと仕事の内容を学生と企業の双方が理解できたこと等も採用に繋がっています。まれにアニメ制作ができると勘違いをして就職を希望する学生もおりますが、インターンシップを通してそういった誤解を解くこともできますし、学生に仕事の魅力を理解してもらうのに役立っていると思います。

■ 受入企業様評価など

トリプルワンは、2016年からタイの採用を開始し、これまでTNI様を卒業された学生は継続して入社しています。いずれもそれぞれのフィールドで大活躍をしています。タイ人学生を採用するにあたって、日本語でのコミュニケーション、学生と企業ともに苦労する場面もありましたが、タイ人学生たちは意欲的に学習する姿勢と真面目さで業務と並行して日本語の勉強にも励み、入社後しばらくして社員とコミュニケーションが取れるレベルに成長しています。また、TNI様の卒業生は技術的なスキルや基礎能力がとても高く、勤勉であるため、同世代の若手社員に対してとても良い刺激となり、互いに切磋琢磨しながら仕事に励むことができる環境づくりにも貢献してくれていると感じます。今後も活躍していただける人材をサポートし成長と貢献してくれることを期待しております。

■ 受入企業様ご紹介（4）

- ・ 会社名：株式会社コンサドーレ
- ・ 所在地：札幌市豊平区羊ヶ丘
- ・ HP : <https://www.consadole-Sapporo.jp/>

<企業紹介>

プロサッカーJ1リーグに所属する北海道コンサドーレ札幌を中心にバドミントンやカーリング等のスポーツチームを運営することで北海道を元気にする活動を行う企業です。北海道コンサドーレ札幌にはタイ代表の中心でもあるスパチョーク選手が在籍しており、同選手の人気を活用してタイでの北海道のシティプロモーションを展開しています。

■ インターン期間中のエピソード

■ 小学校訪問

当社では社会連携活動の一環としてチームの選手などが小中学校を訪問して、身体を動かすことの楽しさや目標を達成するために努力することの大切さを子どもたちに伝えています。

インターン生には、タイの言葉や文化を子どもたちに学んでもらう目的で、苫小牧市の植苗小学校に訪問してもらいました。最初はタイの食べ物や観光地などを紹介、そのあとみんなで、タイ語による自己紹介の練習を行いました。子どもたちも積極的に参加をして、元気に自己紹介を行っていました。

最後にタイ語でのじゃんけん大会を実施。勝ち残った人は改めてタイ語の自己紹介をして、インターン生からプレゼントをもらっていました。



■ ラジオ番組出演

北海道の地元FMラジオ局「ノースウェーブ」で毎週日曜日に放送している「Sabaai Sabaai ! Thailand」という番組に出演しました。この番組はタイ国政府観光庁公認タイランドスペシャリストでもある番組MCの方が現地取材を交えつつ、タイエンタメ・タイ語・歴史や伝統文化・タイ最新情報などタイの魅力を紹介するものですが、この中の1コーナーであるタイ語講座にゲスト講師として出演しました。日本人のタイ語講師との掛け合いとともにタイ語を話して見本を示しました。出演者からも「きれいなタイ語！」と言われていました。インターン生は、特に緊張する様子もなく出演を楽しんでいました。



一般社団法人 日・タイ経済協力協会 概要

目的： タイ及びその近隣国との経済協力を推進し、経済・技術の発展に貢献するとともに、日本との友好増進に寄与する。

設立： 1972年7月7日

事業： I. 泰日経済技術振興協会（TPA）共創事業

II. 泰日工業大学（TNI）共創事業

III. 政府受託等事業

IV. 会員向け事業

講演会の開催

機関誌「日・タイパートナーシップ」の発行

泰日工業大学ジョブフェアへのご案内、他



会長 早川 茂

住所： 〒113-8642

東京都文京区本駒込2-12-13

ご連絡先： TEL: 03-3946-0841 FAX: 03-3946-0896 Email: admin@jtecs.or.jp

ホームページ： <https://www.jtecs.or.jp>



都営地下鉄三田線：千石駅(A1出口)より徒歩5分

JR山手線：駒込駅(南口)または巣鴨駅より徒歩10分

東京メトロ南北線：駒込駅より徒歩10分

JTECS法人会員ご入会のご案内

当協会は、会員の皆様の会費によって運営されております。当協会のタイ国及びその近隣諸国における産業人材育成を中心とする諸活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力いただける法人様のご入会をお待ちしております。

【会員の種類】

正会員 会費年額 70万円
賛助会員 会費年額 1口5万円

【会員特典】

機関誌「日・タイパートナーシップ」（季刊）の無料購読
JTECS主催講演会等のご案内、ご優待
インターンシップや販売書籍の割引サービス（一部対象外あり）
タイに関する情報提供
JTECSホームページ内「会員限定ページ」の閲覧

※法人会員様には、TPA会員に付与させていただいている特典についてもご希望次第で、ご指定の現地法人1社に限り、同等のサービスを提供させていただきます。